



OSAKA UNIVERSITY

大阪大学 RPA実践奮闘記

どうも。
ワタシ、阪大公式マスコット「ワニ博士」です。
1月29日に引き続きよろしくお願ひします！！



Dr. Wani,
OU mascot

大阪大学総務部人事課任用係長 貝原 亮
任用係員 榎 美津甫
soumu-jinji-ninyou@office.osaka-u.ac.jp

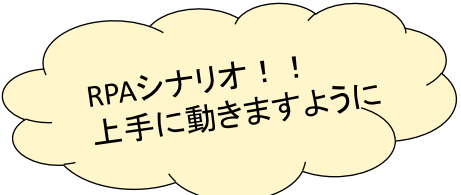
はじめに

1月29日「RPA【導入】奮闘記」

- ・「RPA (Robotic Process Automation) を導入したい！」
- ・ 導入決意から導入まで約1年間の奮闘記。
- ・ RPAはボトムアップ・スモールスタートで導入できる。
- ・ どのように組織に定着させるか試行錯誤中。

3月3日 「RPA【実践】奮闘記」

- ・ WinActor®を人事課業務でどう活用しているか。
- ・ 実際にRPAの「シナリオ」をご覧ください。
- ・ どんな作業をRPAにさせられるのか、お考え下さい。



RPAシナリオ！！
上手に動きますように



WinActorはNTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。



教育機関DXシンポとRPA

- **第22回 東北大学** コネクテッドユニバーシティ構想でのRPAの役割
- **第23回 早稲田大学** 大学組織一体となってRPAを活用している実情
東京大学 ニューノーマルな大学業務実現へのRPA活用を提言
- **第24回 東海国立大学機構** 新組織の運営にRPA活用で業務生産性を向上
- **第25回 大阪大学** RPA導入に至るまでの経緯、導入後の課題
- **第26回 東北大学** RPA操作で、具体的な作業イメージを可視化
東海国立大学機構 組織におけるRPA管理のフレームを提示
- **第27回 早稲田大学** RPA業務担当者向けツールの紹介
大阪大学 個人・組織間それぞれの業務をRPAで簡素化

RPAの期待度が
上がってきたなあ



RPAの効果その1 (ワタシの業務を肩代わり)



印刷作業
入力作業
定型作業
繰り返し作業
マニュアル作業
大量作業
コピー作業
月次処理
抽出作業
帳票作成



あ〜ん!!

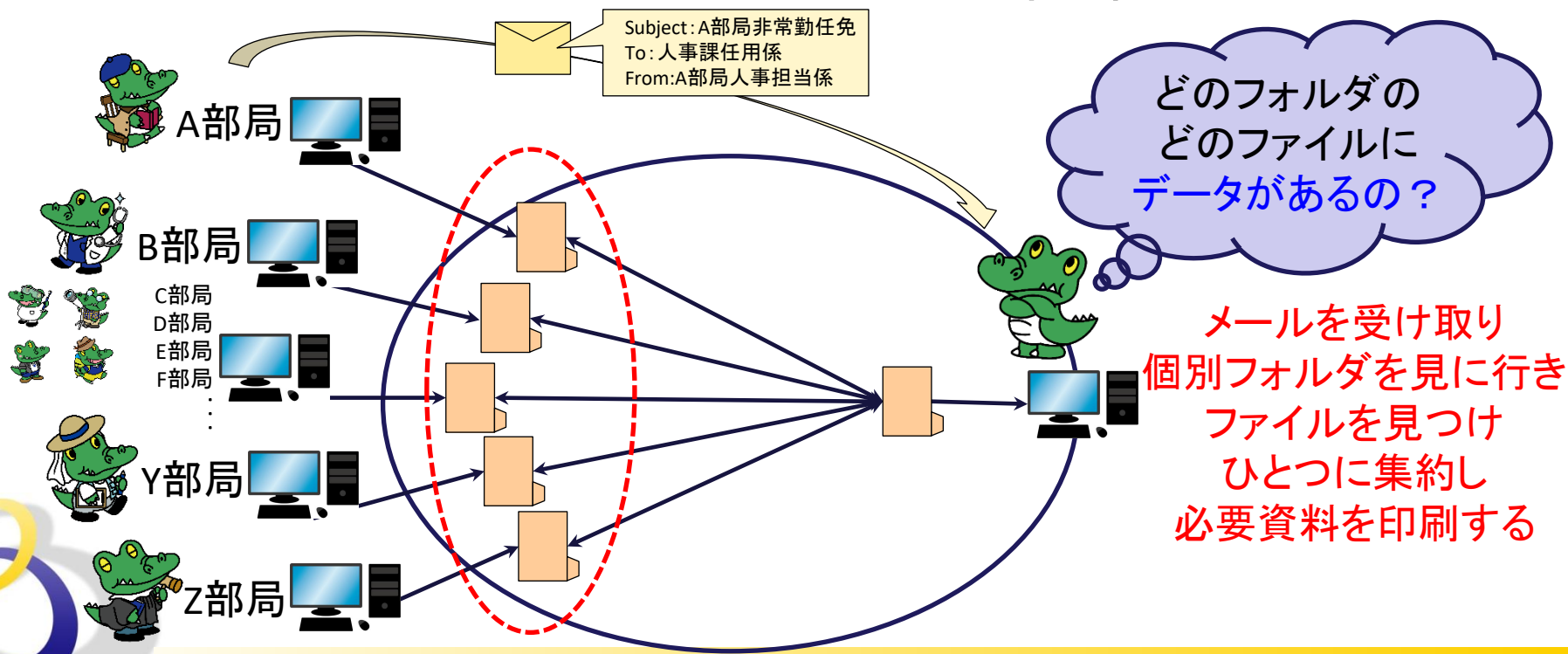
誰かがやらないといけない作業。
あ、電話... どこまでやったっけ。
このマニュアル難しい!
何度やっても慣れないわ
あと何件あるのかな...

RPAの効果その1 (ワタシの業務を肩代わり)



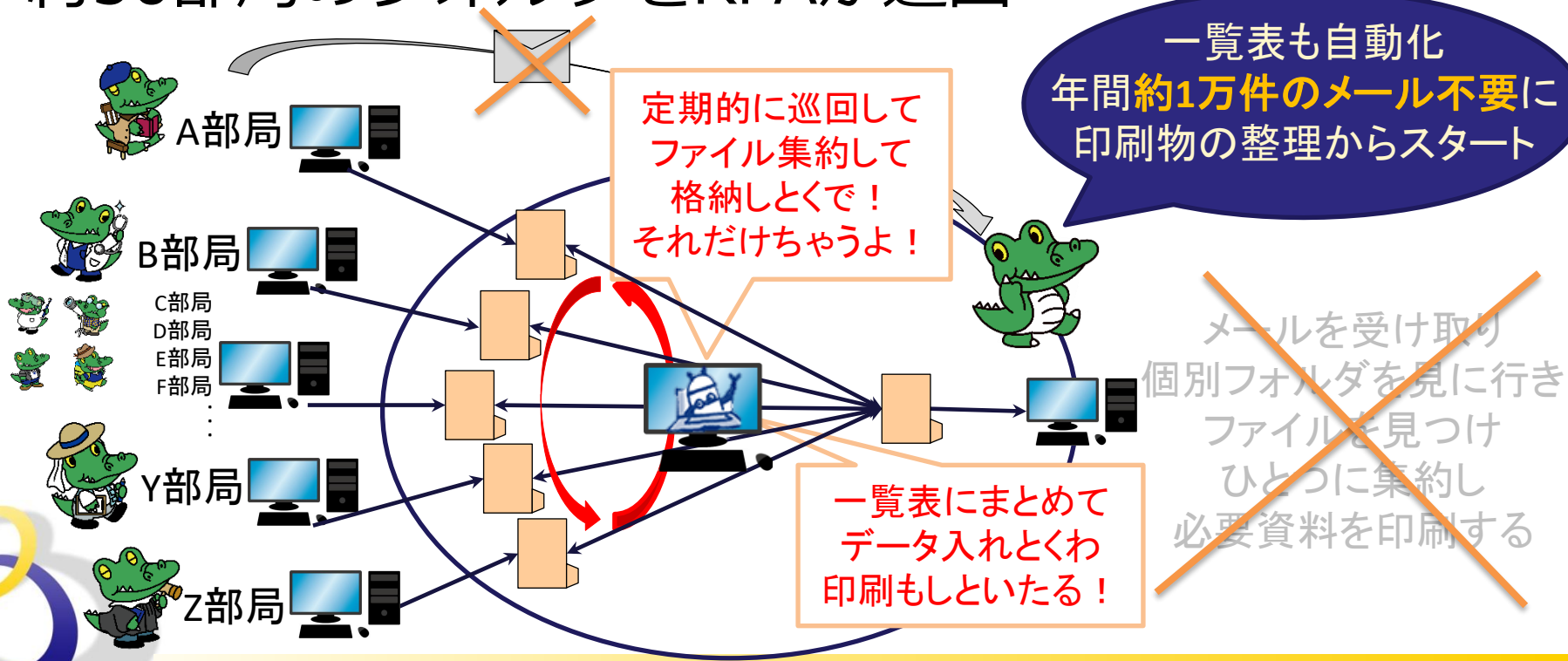
RPAの効果その2 (組織と組織の連携簡素化)

約50部局のフォルダを都度確認→作業



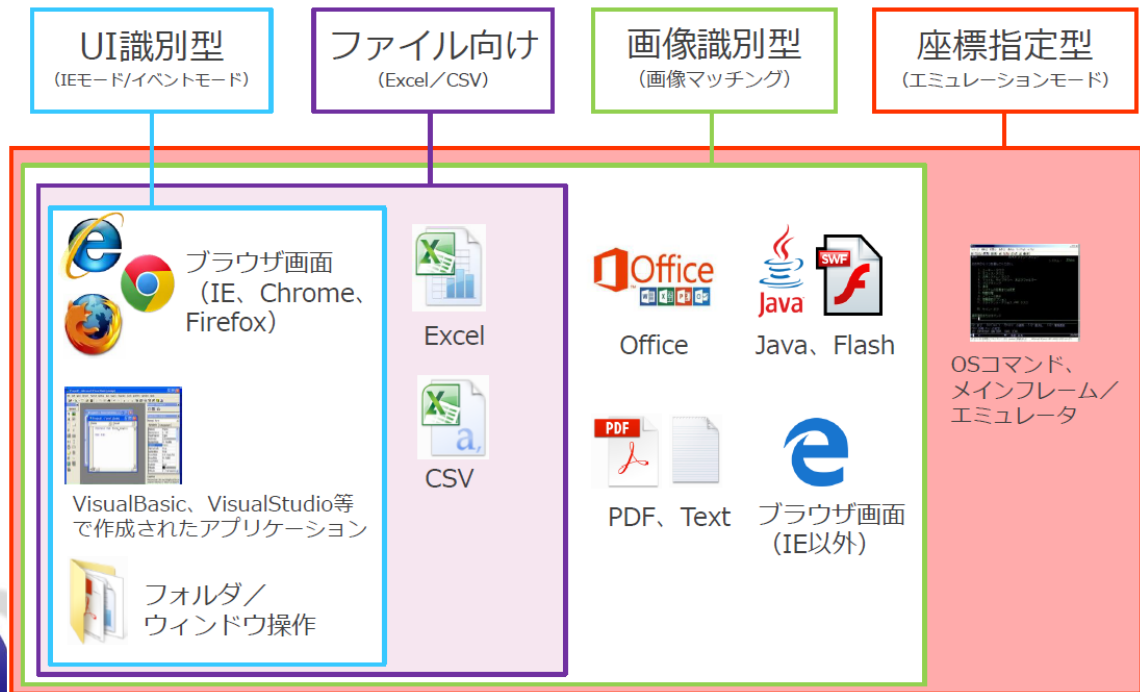
RPAの効果その2 (組織と組織の連携簡素化)

約50部局のフォルダをRPAが巡回



WinActor® 動作の指示方法

◆4つの自動操作インターフェースを適宜選択



記録対象のアプリケーションに応じて4つの記録方法を使い分けたり

その状況に併せて指示できるのかなるほど...

※WinActor紹介資料より抜粋



それでは、実演です。

◆ WinActor®のビジュアルをご確認ください

◆ 実演 1 (ワタシの業務を肩代わり)

- ・ 人事記録 (労働者名簿) を出力します！

【注目！】印刷設定もRPA。システムに入って作業します。



◆ 実演 2 (組織と組織の連携簡素化)

- ・ ネットワークフォルダの見回り、整理、とりまとめ！

【注目！】複雑なシナリオ！でもロジックがあれば大丈夫。



【いざ！シナリオ実演！！】



失敗事例（時々こんなエラーが出ます）

- RPAの速度がPC動作よりも早い！（PC考え中…）



別にイラチちゃう！処理スピード変えてや！PC動作ちゃんと待てるで！

- 指定した帳票じゃない！（担当者が帳票を変更など）



これは困るねん。でも、ちゃんと指示してくれたら、何とかしたる。

- アプリの配置場所が変わった！（アップデートなど）



しゃあないわな。そんなこともあるわな。設定変えて一な。

試行錯誤で
すこしずつ…



RPA実践に向けて

• Benefit/Cost を検証しつつ

1日5分の単純業務 ⇒ 250日×5分 ⇒750分
シナリオ作成 180分 1日ワンクリックで完了

※RPAに馴染む作業を見つけ出すひらめきが必要です。

• 現プロセス？ RPA？ 他のプロセスで比較する

すでにシステム化してます ⇒ でも末端に負荷掛かってない？
新しいシステムを導入します⇒ それまで何年かかります？

※現状が絶対ではないという前提でのRPA活用です。



- RPAがデータベース間の**リエゾン**となる
DXの鍵。各DB上の似て非なるデータを処理して共有する。
- RPAがVBAやACCESSと**仲良くなる**
すでに簡素化が実現しているソリューションと連動させる。
- RPAが全構成員からの**連絡を引き受ける**
本部⇔部局事務⇒構成員 という流れがなくなる。
- RPAが**夜のうちにの作業**してくれる
包括契約にロボユーザをいつからカウントするか。



ありがとうございました

現場感覚で実行のため
試行錯誤の日々です。
アドバイス、叱咤激励お願いします。

ソリューションは違えど
RPAにお願いできそうな業務は
どの大学にもありますよね。
引き続き情報交換いただきながら
業務の簡素化が進めばいいなと
願っております。

